

One generation

—広島大学グリークラブ—

工学部学生 八嶋 和 幸



会計研ってこんなもの

経済学部学生 高橋 生 淳



one generation。30年、一つの世代、新しい物の発生を意味する。迫力ある男声合唱にあこがれた4人の男達の、カルテット結成に端を発する広島大学グリークラブ（男声合唱団）は今年、創部30年の節目を迎えます。一口に30年といっても、クラブをとりまく状況は穏やかなものではありませんでした。クラブ発足、部員数減少期、大学紛争。数々の問題に直面し、そのたび乗り越えてきました。どの時代も変わらず、グリーを支えてきたものは、「グリーばか」（部内用語。誰よりも歌とクラブを愛する）情熱でした。そして今、問題は統合移動です。ひとつの音楽を全員で共有する合唱サークルのグリークラブも他の例にもれず、部員の約2割が西条生のため、全員で練習できるのは、週1回土曜のみで、他の日は千田と西条で分断練習を余儀なくされています。学生気質の変化で、昔ほど「グリーばか」は耳にしません、部員の「歌への思い」が問題解決に結びつくだろうし、西条生の私の足を千田へと向かわせるのです。

来年1月15日（東広島中央公民館）20日（フェニックスホール）にて第30回定期演奏会を行います。私達の「歌への思い」と30年の歴史の一部をみなさんにもぜひ、聞いてもらえたらと思います。

次の generation に向けて……。

会計研とは、会計学研究会のことで、その活動内容は、会計学を研究することである。週に1度、勉強会を行うが、それ以外はなんでもあり、まったく拘束されることはない気楽なサークルというよりも気楽な集団といった感じである。釣りあり、ドライブあり、麻雀あり、スキーあり、遊びなら何でもござれといったサークルで、勉強と遊びの比率は平均5対5、しかし人によっては8対2になったり1対9になったりと様々である。それは、自分の好きなことに時間を注ぐことができる人間の集まりらしさを表している。

さらに、新入生歓迎コンパ、簿記検定打上げコンパ、役員改選コンパ、おいだしコンパ、卒業コンパ、その上、夏と冬には合宿があって、夏は観光、冬はスキー、夜は勉強会そして酒盛り、というように互いの親睦をますます深めてゆくのである。また忘れてならないのが夏と冬の合同発表会と西日本学生会計学研究会への参加、会計研でしか味わえない行事である。つまり会計学研究会のコンセプトは、良く学び思いっきり遊べなのである。